



川でむすぶ



<事業報告>

- ①三和小学校学習支援（7/10③回目）
- ②好間第4小学校学習支援（6/5①回目・7/17②回目・9/11③回目・11/6④回目）
- ③第2回防災・水辺教室（8/18）
- ④第10回夏井川かわくんだり（8/25）
- ⑤第9回パルシステム福島水辺の観察会（9/7）
- ⑥平中塩地区懇談会（9/26）
- ⑦第6回夏井川沿いウォーキング（10/27）
- ⑧新川秋の植栽（11/23）
- ⑨清掃（8～12月）

<コラム>

NP0 法人浅見川ゆめ会議の紹介（R7年度福島県水環境活動団体交流会の主団体）

<その他>

助成報告

年頭挨拶

代表世話人 桶田隆司

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、輝かしい年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

令和6年は、1月1日に能登半島地震が発生し、復興途中の9月には線状降水帯による豪雨により大きな被害が発生しました。いわき市でも一昨年の台風13号で線状降水帯による豪雨により大きな被害を受けております。地球温暖化による異常降水の発生頻度の高まりを実感しております。流域治水が取り組まれて数年が経過し、いわき市内でも復旧工事も進められていますが、住民一人一人が意識を変え、行動していかなければならないと改めて思う機会となりました。

当会の活動については、平成12年の設立趣旨である『流域住民自らが、お互いの連携の輪を広めながら、今後の夏井川の治水・利水・河川環境のあり方について考え、提案し、行動していく』を掲げて進めております。昨年（令和6年）も、防災講座、地区懇談会、水質一斉調査、小学校学習支援、川下り、河川清掃等を実施しており、その中でも、夏井川防災ステーションを防災・

教育の場の拠点として活用していくことの実現に向けて動き出しました。

点と点が繋がり線となり、線と線が繋がり面となり、面と面が繋がり大きな面となります。地域の活動・声が流域一帯に繋がるよう本年（令和7年）も、会員、地域の皆様と一緒に『見て・触って・感じて・考え』、『子どもたちの笑顔が見える夏井川！』を目指して活動をしていきましょう。

新しい一年が皆さまにとって素晴らしいものとなりますようお祈り申し上げます。

<事業報告> ①三和小学校学習支援

佐藤雅子

【せせらぎスクール 第3回目 好間川・夏井川流域視察（上流～河口まで）】

令和6年（2024）7月10日（水）三和小6年生14名。好間川上流辺の三和小学校からバスで夏井川河口まで行きました。途中好間川の沢小谷橋側道橋で説明を受け、夏井川平橋、夏井川河川防災ステーション手前の土手から改修工事が終わったところによく見えるようになった、好間川が夏井川に合流しているのを確認。さらに下って夏井川河口左岸の沢帯（ざわみき）公園上の土手から川幅が広く大きくなったのを見ました。そして仁井田川水門建設中の説明をいわき建設事務所の方から受けた後、高い所から太平洋の海の空気を吸いました。

何といってもお楽しみはカニ釣り。真剣にカニと勝負していたのは児童たちはもちろん、校長先生も本気で挑戦していました。ベンケイガニ30匹以上捕れました（すぐ水辺に返してあげましたよ）。

◆出発前、公民館の方や先生、児童の前で、三和トンネルの前に住んでいた作家の草野比佐男氏のことを聞いたら、誰も知らなかったのは残念でした。でもバスの中でみんなに「作家・草野比佐男」の話が私でしたところ、後の感想文に「偉い人の話を聞いてよかった」と書いた児童がいたとのこと、少しほっとしました。

◆沢帯（ざわみき）公園にはブランコがあります。夏井川を眺めて土手の階段を下りたとき、目敏く見つけた子どもたち。4つの席に走って行き、楽しそうに漕ぎ始めました。時間がなくて乗れなかった他の子どもたちのうらやましそうな顔。全員にブランコを漕いで、太平洋の浜風を嗅いでもらいたかったです。

◆いつも思いますが、こんな楽しい学習は小規模な学校の一部でしかやっていません。自然豊かないわき市でさえ、ほとんどの子どもは体験したことがないのです。自分のいる環境に触れる状況を何とかつくってやれないものでしょうか？



沢帯公園でのブランコ



カニ釣り体験



ベンケイガニ（観察後放流）

ベンケイガニ (クロベンケイガニ)

河川下流域の川岸やその周辺、汽水的や淡水に近いところに住んでいます。弁慶蟹と書き、脚に堅い毛が生えていて、それをすねに見立て弁慶の泣き所から命名したとか、甲羅の凹凸の質感が弁慶の鋭い形相に似ているからとか、諸説あります。飼育可能で、寿命3年～5年程度ですが10年以上生きる場合もあるようです。食用には向きません。

<事業報告> ②好間第4 小学校学習支援

橋本孝一

今年度も、NPO 法人いわき環境研究室との共催事業として、合計4回の水環境学習支援が持たれました。週日での学習支援ということもあり、当会からは、3～4名（いわき環境研究室所属会員も含めて）参加しました。

◆第一回目（6月5日）～「好間川の水源地から夏井川河口までを辿る」

全校生24名が参加、7名が支援に当たりました。当日は、晴天に恵まれ、学校を2台のバスに分乗し、まずは水源地の一つである「雨降山」へ。熊の目撃情報があったことから、麓を流れる溪流で、生き物調査を実施、清流に棲息するカゲロウやサンショウウオが生息しているのを確認できました。その後、三和公民館でのトイレ休憩後、一路、夏井川本川との合流点へ。工事中の点を考慮し、バスを夏井川防災STに留め、好間川が夏井川に合流する様子を観察しました。

バスは川沿いに下り、夏井川左岸公園に到着。堤防から、川幅の広がった流れの様子、上流を望む景観を堪能しました。その後、新舞子浜公園の護岸階段で昼食を摂りました。砂浜では、様々な貝類やハマゴボウ等、海岸独特の植物を観察できました。

昼食後、夏井川右岸の親水護岸で、カニ釣りを楽しみました。また、ウナギの稚魚も採取されたりしました。参加児童にとって、貴重な体験になったものと思われました。



水源地溪流での生き物調査



夏井川との合流地点の様子

◆第二回目（7月17日）～「学校近くの好間川の水生生物・水質調査」

学校近くを流れる好間川での水生生物調査には、3～6年生21名が参加しました。川での調査の前に安全確認も含め、水深や流速を確認し、早速、それぞれ、網やバケツを持って生き物調査に取り組んでいました。サワガニ、ヘビトンボ、ヤゴ、カゲロウ類、ヌカエビ等、「きれいな水」を好む生きものを多数採取できました。

生き物調査の後、5,6年生11名は、水質分析にも取り組みまし



た。予め採取しておいた3箇所（水源、学校前、北目町（下流））の水質分析（COD パックテスト、
におい、透視度、導電率）に挑戦し、それぞれの結果をレーダーチャートに表し、水質の違いに
ついて生活との係わりについて考えました。

◆第三回目（9月11日）～「好間川での川遊び体験」

当初、8月30日の予定でしたが、台風の影響で、9月11日の実施となりました。今回は天候に
も恵まれ全校生参加での「川遊び体験教室」を実施しました。現場は深みもあるため、万全の体
制を組んで支援にあたりました。当会の阿部孝男さんから、川で遊ぶ際の注意、溺れた人の助け
方等、実践的な注意・説明を受けた後、それぞれ「川流れ」を体験したり、水生生物採集・笹舟
競走など、楽しむことができたようでした。



◆第四回目（11月6日）～「水防災学習」

今回は、5、6年生を対象に、主に模型等を使った「水災害」をテーマとした学習支援を実施し
ました。体験内容は、水災害に関する概要説明の後、①流域と分水界、堤防の役割、②流域ジオ
ラマによる川に係る構造物等の説明、③森の保水力実験（植生の有無による流出率の違いを確認
する実験）、④砂防ダムの役割（模型実験によるダムの効果と限界について）、⑤水循環と流出実
験、⑥川の流れが川筋に与える影響についての実験、⑦洪水時の対応に関するソフト対応につ
いて（今年は、段ボールを使った避難場所の確保や簡易トイレの設置等についても体験できました）

盛りだくさんのテーマであったため、各15～20分の説明となり、参加児童にとっては、やや負
担が大きかったのでは、と気になりました。



流域模型による説明（テーマ①）



川の流れと：川筋の変化（テーマ⑥）

※詳細は、「NPO 法人いわき環境研究室」のHPをご覧ください。

<事業報告> ③第2回防災 水辺教室

阿部孝男

第2回水辺・防災教室を令和6年8月18日に夏井川防災ステーションで開催しました。

防災ステーションでの座学では身近な防災の関する注意点や過去の災害事例での今後に生かす反省点など、さらに水辺での安全対策やライフジャケットの重要性や万が一に備え気を付けることなどの講義を行いました。

続いて河川を中心とした流域模型実験では実際に水を流し河川の増水による河岸の崩壊や家屋の流失など、どこが安全でどこが危険かなどを再現し、子供たちをはじめ参加者のみなさんは非常に興味深く、そして歓声を上げながら何度も実験を繰り返しました。



防災講座～流域模型実験の様子

水生生物調査は夏井川本川河原が砂地で水生生物がおらず、防災ステーション脇の新田川は水深が深いため観察が困難ため、新田川少し上流の平商業高校の裏で行いました。

採れた生物はアメリカザリガニなどあまりきれいでない水に棲む生物ばかりでしたが、子供たちはたくさんの水生生物を捕まえていました。

水生生物調査の後は同じ場所で笹船づくり笹船競争を行いました。笹船を作るのが初めてという方も多くおり慣れない手つきで笹船づくりを行い、笹船競争に夢中になっていました。



水生生物調査～笹船競争の様子

年間を通して防災ステーション周りの草刈りを行い、今回の開催に当たり会員が事前調査・準備を行いました。川へのアクセスが困難であることも課題としてあります。県と市で親水を踏まえたアクセスの施設整備を検討中ですので今後はもっと川に近づきやすくなるかと思えます。

前回に続き参加者は少なかったですが、周知等にも力を入れ多くの参加者で今後も続けていきたいと考えています。

参加者の皆さんお疲れさまでした！



<事業報告> ④第10回夏井川かわくだり

阿部孝男

夏井川かわくだりも今年で10回目を迎え、昨年に引き続き夏井川流域の会とNPO法人小野自然倶楽部との共同主催により夏井川河口親水公園で行いました。

参加者は小野町からの家族連れなどの一般参加者が多く昨年のリピータも含め約30名の方が参加し、代表世話人の開会あいさつから川遊びでの安全対策・注意点の説明を受けた後、用意したカヤック、ボート、SUP、アクアボール、水上バイクなどを楽しみました。

今年は満潮時間とも重なって昨年のように座礁することもなくアクアボールも加え快適に遊ぶことができ、太平洋が体感できる本当の河口まで往復参加者もたくさんいました。

昼食時は用意したバーベキューをお腹いっぱい楽しみながら参加者同士の交流を深めながら歓談しました。



本来のかわくだり自体の「夏井川水との旅（なっちゃんボール）」は平成19年から始まり、未だ最上流区間、夏井川溪谷の一部、鎌田から河口までの区間が残されていますが、このような一般参加者との交流機会を交えながら完遂を目指していけたら良いかと思えます。

来年も行う予定ですので、ぜひ参加してください。



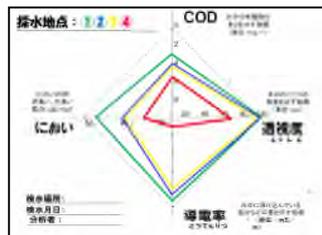
<事業報告> ⑤第9回パルシステム福島水辺の観察会

阿部孝男

パルシステム福島環境委員会主催の「パルシステム水辺の観察会」を、9月7日（土）に小川公民館で約25名が参加して行なわれ、今年で9回目になり今回も当会で支援を行いました。

初めに公民館内で水質分析を行いました。川の水の水質を比較するため以下の4ヶ所の川から採水し分析を行いました。

- ① 加路川（小川町上流地区に注ぐ支流）
- ② 夏井川本川（小川公民館）
- ③ 夏井川本川（鎌田）
- ④ 新川（市街地を流下する支流～アリオス前）



レーダーチャート

それぞれの検水について4グループに分かれて我々スタッフの指導によりCODパックテストや、透度、導電率などを参加した子供たちや保護者の方々に分析し記録して頂きましたが、初めての子供たちがほとんどで、川の水の水質が分かることに興味深く慎重に行っていました。

分析結果は結果表に記録しレーダーチャートを作成しました。



水質分析～記録の様子

続いて水生生物調査を公民館前の夏井川の河原で行う予定でしたが、昨年の台風洪水以来河原が流失し河原の様相が変わってしまい事前の下見でも水生生物が確認できなかったため、近くの支流下田川で水生生物観察を行いました。下田川では指標生物の他いろいろな生物や稚魚などが確認されました。

子供たちは直接川に触れるというのは機会がないせいか水生生物を見つけたり水にぬれたりして子供たちは大はしゃぎで歓声を上げていました。

公民館に戻って昼食後水質分析結果の講評をはじめ、流域との関りや水の汚れていく様子、川に行くときの注意点など安全に関する講座を行った後、コロナで中断していた川遊びを公民館前の夏井川河原でカヤック遊びを楽しみました。



水生生物調査の様子

カヤック体験

後日参加者からのアンケート調査結果をパルシステムさんから頂きましたが、やはり「川に直接触れてよかったことや、水生生物に対して関心を持った子供たちがたくさんいたことが分かり、カヤックでの川遊びも大変喜んでいただきました。主催のパルシステムのスタッフさん、支援に参加された当会スタッフのみなさん大変お疲れさまでした。



<事業報告> ⑥平中塩地区懇談会

桶田隆司

令和6年9月26日(木) 18:30~20:00、夏井川河川防災ステーションにて、平中塩地区の方々と懇談を行いました。

※当会が主催する地区懇談会は、平成12年(2000年)に会が設立した後の平成14年から15年に7地区(小川地区、内郷地区、平窪地区、夏井地区、塩・鎌田地区、川前地区、好間地区)で開催し、会の事業に反映してきました。その後、2019年(令和元年)10月に東日本台風により大水害が生じ、河川環境が大きく変化したことから、地域の方々と再び河川に関する意見交換を行い、会の事業に活かしていきたいと思い開催しております。

平中塩地区からは吉田孝保区長さんはじめ8名が、当会からは4名が出席しました。

懇談のテーマは、①夏井川と中塩地区の係わり(治水・利水、夏井川河川防災ステーションの利活用、水辺の活用)、②当会の事業に期待することを中心に行いました。

まずは、当会代表の桶田から、懇談会開催の主旨、夏井川流域NWの事業紹介、平窪地区懇談会の話題提供を行い、懇談を進めました。

【懇談内容】

- ① 夏井川と中塩地区の係わり(治水・利水、水辺の活用、維持管理の課題)
 - ・大雨が降ると塩地区は遊水池となっていた。
 - ・夏井川は、大きく蛇行していて、防災S T付近は好間側の陸地だった。
 - ・大きく蛇行して浅い区間があり、歩いて渡れた。
 - ・夏井川に合流している好間川の水は黒かった(石炭?)。合流新川より下流は汚かった。
 - ・改修(現堤防)前には、粘土層の穴にウナギもいて、魚釣りもしていた。
 - ・小川江筋が三面コンクリートになる前(S44完)は、ホタル、シジミもとれ、泳いだり、魚釣りをして遊んだ。
 - ・地区では20人ほどで、毎週草刈りを実施しているが、夏井川まで実施できない状態。(農道、水路、門口等)
 - ・夏井川は、買収する前の畑の時代は、しっかり管理(草刈)されていた。県で買収した土地を耕作したい人(都会の人)に貸せば管理できるのではないかと。
 - ・高齢化で、管理(草刈)を地元という構図には無理がある。県で維持管理してほしい。
 - ・夏井川で進められている工事では、川幅(底幅)が広がったが、画一的であり、以前の新川のような低水路が必要と思う。
 - ・河川の整備では、メンテナンスフリーの整備を望む。
- ② 夏井川河川防災ステーションの利活用
 - ・中塩地区には公民館がなく、集会所として区の管理のもとで和室を使用できた。建設するときの約束だった。区では、トイレ、廊下の清掃を行っていた。
 - ・東日本大震災後は、双葉地方水道企業団が2階に常駐となり、1階も使用できなくなり、双葉地方水道企業団が引き揚げた後も使えなくなっている。使用する時は、都度市の許可を得、カギを受取・返却という手間がかかっている。

- ・防災S Tは自由に使えないが（約束反故）、区では敷地周辺の草刈りは行っている。
- ・防災ステーションを夏井川の会で実施している防災教育の場・交流の場として、交流の場として活用出来ることに期待したい。

③ 当会に期待すること

- ・会の実施している事業をあまり知らなかった。事前に周知されれば参加してみたい
- ・川で遊んだことのない親が増えている。子供会と連携した事業の実施がよいのではないか。
- ・防災S Tを防災教育の場として活用することには賛同する。
- ・防災S T前の夏井川に親水階段護岸、新田川に親水階段護岸の整備が進み、親水活動が活性化することに期待する。
- ・上下流連携（小野町、滝根町）は、良いと思う、継続を望む。

【まとめ】

今回の懇談で中塩地区の夏井川との係わり、地区の方々の想いを知ることができました。防災S Tの活用については、地区の方と協力して行動することを確認し、維持管理や親水性・利活用に係る課題は、いずれも直ぐには解決できるものではありませんが、会としても一人一人が意識できるような事業展開に繋げていければ良いと思います。

参加された平中塩地区の皆様、ありがとうございました。

次の懇談会は、令和7年2月に好間地区で開催予定です。



懇談会の様子（夏井川河川防災ステーション）

<事業報告> ⑦第6回夏井川沿いウォーキング

江尻勝紀

1. 日時 ; 10月27日(日) 9:00~11:00
2. ルート ; 江田キャンプ場~籠場の滝~夏井川第2発電所 L=2.9km
3. 参加者 ; 20名

地元の古川さんが同行していただき、説明をしてくださいました。キャンプ場をスタートし、石碑が現れて「庚申」(こうしん)様が祭ってありました。これは、過去に疫病が流行り、毎年6月の第2日曜日に祈願祭をしているとのことでした。

孫太郎川が流れていて、水は冷たく水生生物がいるらしいが姿は見られなかった。籠場の滝に到着し、小休止。「魚止めの滝」を近くまで見に行き、右岸の岩場に白い花(ダイモンジソウ)が咲いていた。道路沿いの一角には、大町桂月の歌碑があり、「**散りはてて 枯木ばかりと思ひしを 日入りてみゆる 谷のもみじ葉**」と詠まれています。今年は、紅葉には少し早かったようです。

ダイモンジソウ

山地の湿った岩上に生えるユキノシタ科の多年草で、花期は7~10月、花色は白、赤、ピンク、黄緑などがあります。

夏井川第2発電所では、東北電力の担当者から説明を受けました。そこで、夏井川にあるすべての発電所は、会津にある発電所で一括管理されているとのことでした。また、橋を渡り、右岸側の山道を行くと幻の白糸の滝(?)が見られました。夏井川の道中は道幅が狭く車に気をつけながら歩きました。そのため、帰りは事前に発電所近くの空き地に自家用車が置いてあり、その車に乗りスタート地点に戻りました。

背戸岨廊(草野心平により命名された)は、ゴール後に時間のある人だけが視察しました。(11名参加)今回は距離も短く、ウォーキングには風も強くなく最高の1日でした。お疲れ様でした。

来年は川前町まで4.7km区間の予定です。



ウォーキング状況



「庚申」様



孫太郎川



籠場の滝



県道の保存桜



夏井川溪谷錦展望台



東北電力第二発電所



背戸岨廊

<事業報告> ⑧新川秋の植栽

桶田隆司

令和6年11月23日（日）、ふるさと新川をきれいにする会が主催する、『新川、秋の植栽』に当会から6名が参加しました。実施内容は、①階段護岸の土砂撤去、②堤防・散策路の草刈り・撤去、③階段花壇の花植え、④飛び石から笹船競争です。

市議会議員、市河川課の職員をはじめ、総勢42名の参加があり、花植えには今回も園芸ソムリエ芦澤先生の指導を受けて丁寧に植えられました。寒風の吹く冬の堤防に、歩く人に癒しを与えるきれいな花が、長く見られると良いですね。

作業が終わり一休みしてから、笹船競争です。一組6人の予選を6レース行い、各組1位による決勝戦（6名）を行いました。笹は、夏井川流域の平下平窪地内産です。笹の裏にマジックで番号を付けることで、混戦となったレースでも順位を間違えることがなく、良いアイデアでした。決勝も接戦でしたが、小学生が優勝し、新川をきれいにする会から豪華景品が授与されました。

肌寒い日でありましたが、笹船で大いに盛り上がり、参加賞としてダイコンをいただき、夜はおでんだねー。という声を聞きながら解散となりました。

今回も飛び石と階段護岸の効果は絶大でした。飛び石で川を横断し、階段護岸に座り、笹船競争を応援する。この親水空間を活かした市民活動がますます盛んになることを期待します。

参加された皆様、お疲れ様でした。来春の植栽も楽しみにしております。

※ひょうたん島の岸边（左岸）側に水流が無く淀んだ状態となっています。当会では幾度もスコップで水路を掘り、水流を確保できた時期もありましたが、人力作業ではなかなかうまくいきません。腰をさすりながら天を仰いでいます（重機の出番かな・・・）。



清掃・植栽状況

きれいになった堤防



笹船競争

優勝した女の子

参加した皆さん

<事業報告> ⑨清掃 8月～12月

田中博文

当会では、基本毎月第一土曜の朝7時30分から清掃活動（草刈、ごみ拾い、泥上げ等）を行っています。

清掃場所は、当会の事業を行っている場所、小学校環境学習支援を行っている場所を中心に、①夏井川河口サイクリング公園脇の親水広場、②夏井川河川防災ステーション周辺、③新川アリオス横のひょうたん島の3箇所のうちのいずれかを交互に実施しています。清掃活動は平成22年（2010年）から開始して、月に2回実施していた年もありましたが、さすがに高齢化で体に支障を来さないよう、毎月一回（極寒期の1月・2月は除く）を定例清掃として何とか継続しています。そのため、前回実施した場所は2～3ヵ月後となるので、草が伸びて元通り以上となり毎回四苦八苦しています。集めたごみは、少ない場合は個人で家庭収集日に出していますが、多い場合は市資源循環推進課に回収依頼しています。

会報前号（7/18）以降の8～12月の清掃活動は下表のとおりです。今年は雨天中止が2回ありましたが、状況を見ながら12月まで全箇所とも概ねきれいに出来ました。

月日	区分	清掃場所	内容	参加者数	備考
8/3(土)	8月定例	夏井川河口親水広場	草刈・ごみ拾い	4名	
8/17(土)	臨時	夏井川防災ステーション	草刈・ごみ拾い	8名	防災水辺教室準備
8/31(土)	(9月定例)	新川ひょうたん島	—	—	雨後増水中止
10/5(土)	10月定例	夏井川防災ステーション	草刈・ごみ拾い	9名	
11/2(土)	(11月定例)	夏井川河口親水広場	—	—	雨天中止
11/23(土)	その他	新川ひょうたん島	土砂撤去・草刈・ごみ拾い	6名	新川秋の植栽
12/7(土)	12月定例	夏井川河口親水広場	草刈・ごみ拾い	7名	



河口右岸親水広場



夏井川河川防災ステーション



新川ひょうたん島



集めたゴミ(河口)

特に若い力（当会では60歳代まで若手、70歳代は中堅と呼ぶ）の応援をお願いします。

◆次回予定（令和7年） 午前7：30～（1時間半程度）

（1月・2月は極寒期のため中止です）

- ・3/1（土）【3月定例】新川アリオス横ひょうたん島 階段土砂撤去・ごみ拾い
- ・4/5（土）【4月定例】夏井川防災センター 草刈り・ごみ拾い・倉庫片付け

※1月・2月は中止予定ですが、豪雨で酷い場合は「臨時清掃」を行なう場合もあります。

※日時・場所が変わる可能性があるため、世話人または当ホームページで確認下さい。

※小雨決行ですが、雨天は中止です。

<コラム> NPO 法人浅見川ゆめ会議について

NPO 法人浅見川ゆめ会議 副理事長 阿部 孝男
(夏井川流域ネットワーク 副代表世話人)

私が地元広野町で所属活動している「NPO 法人浅見川ゆめ会議」を紹介します。

浅見川はいわき市小川町上小川の屹菟屋山(標高 750m)を源流とし広野町内を流下し太平洋に注ぐ流路延長約 19km、流域面積 25.8km²の福島県管理の2級河川です。

浅見川ゆめ会議が発足したのは平成 23 年 3 月、まさに東日本大震災直後のことで、会の発足前は有志だけで浅見川の様々な活動は行っていたのですが、体系化に向けては夏井川の活動等も参考にしたいということで橋本前代表や私もいろんなイベント等を通して浅見川に顔を出しておりました。

会員は約 20 名、内、理事 6 名、事務局 2 名で構成されていますが、現在では類に違わず確実に高齢化目指してまっしぐらの状態で、ワタクシも世間一般でいう高齢者である 60 代後半で今だ若手なのです。夏井川でも同じですが(^-^;

それでも活動は大忙しで、川の清掃・草刈り、小中学校～ふたば未来学園の通学路の草刈りをはじめ、アケボノツツジ(アカヤシオ)鑑賞会、ホテル観賞会、モミジ鑑賞会、地元小学校やふたば未来学園中高校生の環境学習支援(主に水質・水生生物調査)、福島高専との共同事業(川・ため池・井戸の水質分析。放射性物質分析など)、隔月発行の「カジカ通信」発行、街のイベント参加、研修旅行など々、年間を通して行事が盛りだくさんで、主な行事には地元ふたば未来学園や福島高専の生徒・学生に参加して頂いています。

浅見川のキャッチフレーズは『日本一きれいな浅見川を目指して!』で、浅見川は上流から海まで全て良好な水質を保った川を目指しています。また、会の信条として『身の丈に合った行動・活動を・・・』としていますが、身の丈を超えて活動しているのでは?と思うことも度々



(浅見川と高倉山国道 6 号より)

余談ですが、広野町はいわき市の隣なのですが、いわき市民からすれば広野町は何となく遠いというイメージがあるようです。実際いわき市が広いせいか場所によっては遠いのですが・・・子供のころ親に連れてもらい汽車(蒸気機関車)に乗って平に行く感覚はドキドキしながら今だと東京に行く以上の感覚だったのを覚えています。

そんな広野町で今年(令和 7 年)、浅見川ゆめ会議が主団体となって『**第 20 回福島県水環境活動団体交流会**』が開催されます。そんな大役を受けてこれまた身の丈を超えているんじゃないかとも思いますが、会員団結して県内各団体を迎え入れるつもりです。詳細が決まりましたら改めてアナウンスしますので、ぜひ広野町にお越しいただければと思います。



ふたば未来学園中高生と一斉水質調査



福島高専学生と 24 時間水質調査



ふたば未来学園高校生と魚道清掃

<助成報告>

2000年発足から各種事業で使用している備品を必要に応じて少しずつ補充・更新してきましたが、「パルシステム2022年度地域づくり基金」の助成金により2023年4月に夏井川河川防災ステーション敷地へ資材倉庫を設置したことから、改めて備品を更新・新調いたしたく助成を申請したところ、下表のとおり2件で当選となったので、早急に更新必要な備品、高額な備品を優先して下記備品を購入しました。

助成事業名	助成金	助成対象事業	購入資材
① 2023年度公益信託福島銀行 ふるさと自然環境基金	15万円	・夏井川かわくんだり ・水辺教室	2人乗りカヌー 1艇 ライフジャケット(大人) 4着 ライフジャケット(子供) 4着 アクアボール 2個
② パルシステム生活協同組合連合会 2023年度地域づくり基金 (連続2回目申請)	36万円	・流域一斉水質調査 ・夏井川かわくんだり ・水辺教室 ・清掃	採水タンク 100 30個 導電率計 2個 CODパケット 1箱 組立式透視度計 2個 小型組立ボート 1艇 ライフジャケット(大人) 2着 ライフジャケット(子供) 2着 燃料携行缶 1個 パンフレット 400部

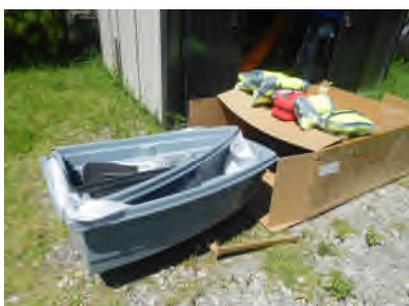
<検品写真>



①



②-1



②-2



②-3

<事務局より>

■年会費の納入をお願いします

今年度から個人年会費が1000円から2000円に変更（1000円アップ）となっています。何卒ご理解のほどお願いします。あわせて、新規会員の募集について周りの方々へお声かけなどご協力をお願いします。

■会報に記事を投稿してみませんか

当会は住民の立場で川に関して見て、考え、行動していこうとする会なので、皆様のご意見や希望等についての記事投稿をお待ちしています。どなたでも構いませんので、事務局または世話人へお知らせ下さい。但し、投稿頂いた記事は世話人会で内容精査してからの掲載となります。

■世話人会に参加してみませんか

当会は毎月第1火曜日に「世話人会」（18：30～）を開催し、事業の反省や今後の在り方など、いろいろな話し合いを行っています。会議時間は1時間程度で、誰でも参加できますので、是非ご参加ください。

1月から4月の会場はいわき市文化センター（いわき市平堂根町1-4）の会議室となります。但し、開催日も含めて変更となる場合がありますので、事務局または世話人へご確認下さい。

～～～ 会員の皆様からのご意見・御寄稿をお待ちしております ～～～
(活動報告・行事予定は下記ホームページでも案内しています)

【会報 第63号】 2025.1.8

発行 : 夏井川流域住民による川づくり連絡会 (略称:夏井川流域NW)
代表世話人: 桶田隆司
事務局 : 〒972-8311 いわき市常磐水野谷町亀ノ尾171地質内
田中博文 Tel)0246-88-8810 Fax)0246-88-8907
ホームページ : <http://blog.natsuigawa-karyu.net/> 夏井川流域で検索